

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可茂特別支援学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和6年11月18日（月） 10:00～11:30
- 3 開催場所 可茂特別支援学校会議室
- 4 参加者

会 長	板津 幹彦	NPO法人プラス・ワン理事	
副会長	板倉 寿明	愛知淑徳大学非常勤講師	
委 員	若尾 真理	可児市こども発達支援センターくれよん所長	
	三好 正司	元公立学校教頭	
	蔵澄 寿磨子	御嵩町あゆみ館施設長（欠席）	
	西本 敬貴	牧野区長	
	板津 厚子	当校PTA会長	
	学 校 側	大竹 陽平	校長
		村山 朋子	事務部長
		河原 春恵	教頭
		本田 知子	教頭
		久保 幸世	小学部主事
	神野 智美	中学部主事	
	小木曾 齊昭	高等部主事	
	中島 啓介	教務主任	

### 5 会議の概要（協議事項）

#### (1) 令和6年度前期の学校運営について

学校：令和6年度前期の学校運営（資料）

意見1：地域の企業が来校する機会はあるか。

⇒4月に法定雇用率が上がったこともあり、本校にどんな生徒がいるか、どんな学習をしているかを企業の方が見学に来ることはある。

意見2：他の企業から障がい者雇用をしたいがどうしたらよいか、と聞かれることがある。本校のことがあまり知られていない。

意見3：過去に、ライオンズクラブの企業を学校に招いたことがある。地域の企業に学校へ来てもらう機会を設定することについて、一度検討してほしい。

⇒現在、計画中である。

意見4：東濃信用金庫に学校紹介コーナーを設置したことはよい試みだ。

意見5：学校祭では、どの児童生徒も生き生きとしており、衣装も色彩豊かで、教職員たちの努力を感じた。

意見6：小中高と、段階を踏んで少しずつ取組の幅が広がっていてよい。

意見7：部活動は、生徒たちのコミュニケーション力、向上心、自分で考えて動く力にもつ

ながるよい取組だ。

意見8：実習は、「働きたい！応援団ぎふ」に登録している企業で実施しているか。  
⇒必ずしもそうではない。実習受け入れ後に登録する企業もある。

意見9：本校は「働きたい！応援団ぎふ」の登録が多いのではないかと。進路に関わる教職員の努力の成果だ。  
⇒本校には就労支援地域コーディネーターもいて、積極的に企業を訪問し開拓している。

## (2) 学校評価アンケートについて

学校：令和6年度学校評価アンケートの分析結果と課題（資料）

意見1：「わからない」の割合をどう下げていくかが課題だ。

意見2：項目がきめ細かいため、全体の把握が十分できている。生徒アンケートについては、表現を再考するとよい。主語が生徒自身になるとよいのではないかと。

意見3：学校祭で校長が劇に登場するなど、教職員の校長への信頼を感じた。

意見4：保護者に対して、教職員の働き方改革を聞く必要があるかと。

意見5：保護者は教職員にいろいろ相談したいと思っているが、自分からはしにくい。教職員から声を掛けてもらえると安心するのではないかと。

意見6：「特色ある教育活動」は、学校のアピールにはなるだろうが、保護者はそれを望んでいるのか。児童生徒に力を付けることが一番大事で、誠実で信頼される学校であれば十分だという考えもある。また検討してほしい。

意見7：自身の子どもについて、ちょうど昨日家事を手伝ってもらっているなかで、成長を感じる場面があった。学校での経験が生きている。本校の存在自体が特色である。

意見10：アンケートにも書いてあったが、学校祭に『にこりん祭』という表記はなかった。名前について検討してほしい。

⇒学校祭の名称は、実行委員の教職員が中心となって検討した。『にこりん祭』という名称は親しみやすいが、一方で高等部の生徒にとってはやや幼稚に感じる面もある。職員の考えを尊重していきたい。

意見11：本校の学校祭は、集客力があり大変誇らしい。

意見12：生徒アンケートに、「学校は楽しいか」という質問があるとよい。一番シンプルで大切なことではないかと。

## (3) 作業製品の価格設定について

学校：令和6年度高等部喫茶サービス班の販売価格変更（資料）

※特に意見はなし。

## 6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会では、前期の学校運営、学校評価アンケートの分析結果と課題について全委員の理解を得られた。
- ・令和6年度作業製品の販売価格変更について、全委員より承認が得られた。
- ・各部の取組、部活動や学校祭の様子、地域の方や保護者に本校の情報を発信する新たな取組について評価を得ることができた。卒業後の生活を見据えて、企業とのつながりをさらに広げていけるような取組も計画していく。
- ・学校評価アンケートについては、質問内容や表現を見直した方がよいという意見が多くあった。今後は、児童生徒や保護者、地域の方への情報発信の仕方をさらに工夫し、学校として大切にしたいことが実現できているかをいろいろな形で確認しながら、学校運営を行っていく。